【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】平成25年3月14日(2013.3.14)

【公開番号】特開2011-157956(P2011-157956A)
【公開日】平成23年8月18日(2011.8.18)
【年通号数】公開・登録公報2011-033
【出願番号】特願2010-234241(P2010-234241)
【国際特許分類】
Ｆ０４Ｃ　5/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ０４Ｃ　5/00　３４１Ｃ
Ｆ０４Ｃ　5/00　３４１Ｌ
Ｆ０４Ｃ　5/00　３４１Ｈ

【手続補正書】
【提出日】平成25年1月23日(2013.1.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
弾性材料で形成されたチューブを、押圧部材を用いて押圧することにより該チューブの少なくとも一箇所を閉塞させ、該閉塞箇所を移動させることによって、該チューブ内の流体を輸送する流体輸送装置であって、
前記押圧部材、および前記閉塞箇所を移動させるために該押圧部材を駆動する駆動手段が設けられた本体ケースと、
前記本体ケースに対して着脱可能に構成されるとともに、前記流体輸送装置によって輸送される流体が通過する流路が内部に形成され、該本体ケースに装着すると、該流路を構成する前記チューブが該本体ケースの前記押圧部材により押圧されて閉塞状態となる着脱ケースと、
を備える、
ことを特徴とする流体輸送装置。
【請求項２】
請求項１に記載の流体輸送装置であって、
前記本体ケースには、前記押圧部材を構成するカムが設けられており、
前記着脱ケースには、前記チューブの側面に沿うように配置されるとともに、前記カム回転を受けて該チューブを順次押圧する複数の押圧軸が設けられている、
ことを特徴とする流体輸送装置。
【請求項３】
請求項１または請求項２に記載の流体輸送装置であって、
前記流路のうちで前記チューブが占める長さの比率は、半分以下に設定されている、
ことを特徴とする流体輸送装置。
【請求項４】
請求項１ないし請求項３の何れか一項に記載の流体輸送装置であって、
前記流路を構成する前記チューブの内径に比べて、前記着脱ケースに設けられた流路部分の内径が小さく設定されている、
ことを特徴とする流体輸送装置。

【請求項５】
請求項１ないし請求項４の何れか一項に記載の流体輸送装置であって、
前記チューブを前記着脱ケースに取り付けた状態で、該チューブの内径を変化させる調整手段を備える、
ことを特徴とする流体輸送装置。
【請求項６】
請求項５に記載の流体輸送装置であって、
前記調整手段は、回転機構を有し、該回転機構の回転により前記チューブを伸縮させることで、該チューブの内径を変化させる手段である、
ことを特徴とする流体噴射装置。